



みなみいず 町議会だより

No. 93 号
2023年
令和5年.5.1

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaj@town.minamiizu.shizuoka.jp



令和5年度 南中小学校入学式

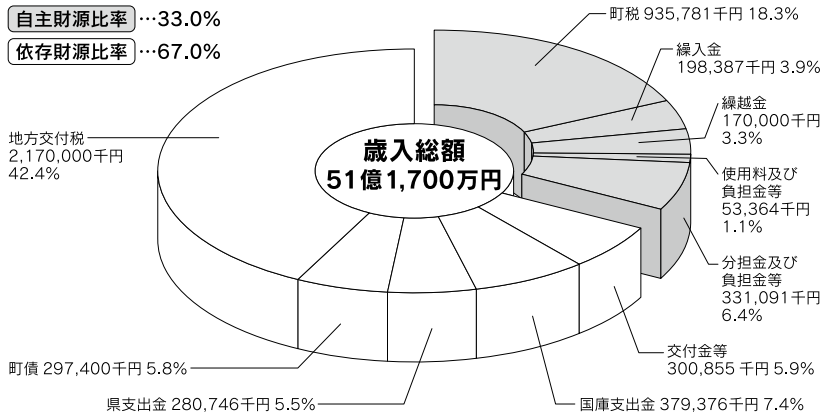
3月南伊豆町議会定例会を2月21日～3月14日の会期で開催しました。

主な内容

- 令和5年度一般会計・特別会計・水道事業会計予算 …………… 2
- 令和5年3月議会定例会採決一覧表、全国町村議会議長会表彰 …………… 3～4
- 審議中にあった質疑又は意見要望事項(予算決算常任委員会・第1常任委員会) ……5～7
- 一般質問 …………… 8～13
- 未来を担う子ども達、議会一口メモ、くろ潮 …………… 14

令和5年度 一般会計・特別会計・水道事業会計予算成立 総額90億1,598万3千円

■ 一般会計51億1,700万円



■ 特別会計 (8会計)

.....

27億4,650万4千円

■ 水道事業会計

.....

6億1,774万3千円

■ 公共下水道事業会計

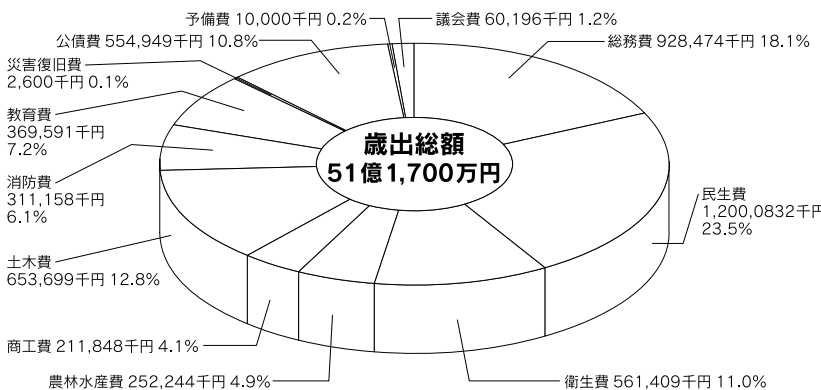
.....

3億7,333万5千円

■ 漁業集落排水事業会計

.....

1億6,140万1千円



一般会計・特別会計・水道事業会計補正予算可決

※3月補正予算は年度末で各種事業等の確定によるものです。

■ 一般会計 (令和4年度)2,547万7千円 (全員賛成)

■ 一般会計 (令和5年度)1,333万7千円 (全員賛成)

■ 特別会計

- 国民健康保険.....▲3,107万6千円
- 介護保険.....5,304万2千円
- 後期高齢者医療▲11万8千円
- 指導主事共同設置事業127万8千円
- 公共下水道事業.....132万2千円
- 中木漁排▲7千円
- 妻良漁排▲1万2千円

■ 水道事業会計..... ● 収益的収支.....▲1,772万6千円 (全員賛成)

● 資本的収支.....▲971万0千円 (全員賛成)

令和5年3月議会定例会審議結果

No.	議案番号	提出議案	審議結果	黒田	宮田	比野下	長田	稲葉	清水	漆田	齋藤	横嶋
				利貴男	和彦	文男	美喜彦	勝男	清一	修	要	隆二
1	報第2号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）	報告									
2	議第3号	南伊豆町議会議員及び南伊豆町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	議第4号	南伊豆町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議第5号	南伊豆町手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議第6号	南伊豆町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議第7号	南伊豆町保育の実施に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議第8号	南伊豆町立認定こども園条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議第9号	南伊豆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議第10号	南伊豆町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議第11号	南伊豆町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議第12号	南伊豆町立地域子育て支援センター条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議第13号	南伊豆町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	議第14号	南伊豆町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	議第15号	南伊豆町漁業集落環境整備事業及び漁港環境整備事業の費用の分担に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	議第16号	南伊豆町漁業集落排水施設条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	議第17号	静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更する規約制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	議第18号	南伊豆郷土館設置及び管理条例を廃止する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	議第19号	南伊豆町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の全部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	議第20号	南伊豆町個人情報保護に関する法律施行条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	議第21号	工事請負変更契約の締結について（令和3年度地震・津波対策等減災交付金デジタル同報系防災行政無線整備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	議第22号	南伊豆町指定金融機関の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	議第23号	令和4年度南伊豆町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	議第24号	令和4年度南伊豆町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	議第25号	令和4年度南伊豆町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	議第26号	令和4年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	議第27号	令和4年度東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	議第28号	令和4年度南伊豆町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	議第29号	令和4年度南伊豆町中木漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	議第30号	令和4年度南伊豆町妻良漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年3月議会定例会審議結果

No.	議案番号	提出議案	審議結果	黒田	宮田	比野下	長田	稲葉	清水	漆田	齋藤	横嶋
				利貴男	和彦	文男	美喜彦	勝男	清一	修	要	隆二
30	議第31号	令和4年度南伊豆町水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	議第32号	令和5年度南伊豆町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	議第33号	令和5年度南伊豆町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×
33	議第34号	令和5年度南伊豆町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×
34	議第35号	令和5年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	×
35	議第36号	令和5年度南伊豆町南上財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	議第37号	令和5年度南伊豆町南崎財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	議第38号	令和5年度南伊豆町三坂財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	議第39号	令和5年度南伊豆町土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	議第40号	令和5年度東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	議第41号	令和5年度南伊豆町公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	議第42号	令和5年度南伊豆町漁業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	議第43号	令和5年度南伊豆町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	議第44号	南伊豆町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	議第45号	南伊豆町個人情報保護審査会条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	議第46号	令和4年度南伊豆町一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	議第47号	令和5年度南伊豆町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	発議第1号	南伊豆町議会の個人情報の保護に関する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

※議長 谷正は採決に加わっておりません。



全国町村議会 議長会表彰

令和5年2月8日 静岡市において静岡県町村議会議長会・地方自治功労表彰が行われ、本町議会の齋藤要議員が27年表彰、長田美喜彦議員及び稲葉勝男議員が15年表彰を受けました。

3月定例会冒頭、議場で齋藤要議員が代表して表彰を受けました。

審議中にあった質疑又は意見要望事項

○ 予算決算 常任委員会

一般会計

1 款 議会費

質疑、意見要望はなかった。

2 款 総務費及び関連歳入 について

問 デジタル田園都市国家構
想交付金でサテライトオフィ
スに4社、活性化補助金が2
社あるが、予算を策定する時
点でどの程度のオフアアが
あったのか。

答 国の予算編成のタイミン
グもあり、当初予算編成には
間に合わなかったため見込で
の予算計上となっているが、
現時点で申請事業者は3社あ
る。

問 地域おこし協力隊が5名
いるが、どの地区に住んでい
るのか。

答 5名の隊員の居住地域に
ついては、南上地区に1名、
三浜地区に1名、南中地区に
2名となっており、3月1日
付けで採用予定の隊員は竹麻
地区に居住する。

問 一般管理事務で時間外、
残業状況は。

答 令和4年度はコロナ関係
で、健康増進課等は土曜日
を含む予防接種等により、か
なり残業が膨らんだ。また、
商工観光課に於いてもイベン
トの開催等により増加した。

問 ジェンダー指数では、日
本は世界の中で130番目く

らいであるが、役所の中では
如何か。

答 役所の中では不平等は感
じていないが、女性職員が管
理職に就くのに抵抗の方もい
るため、今後は女性にもっと
活躍してもらえよう環境の
整備もしていきたい。

問 デジタル田園都市計画構
想の中で事業が7項目と、多
種多様にあるがその見方につ
いて伺う。

答 今までは地方創生という
かたちで進んできたものが、
デジタル田園都市計画に置き
換わってきたもので、地方創
生のまち・人・しごとと総合
政策の策定にも修正を加えて
進めて行く。

3 款 民生費及び関連歳入 について

問 放課後児童クラブの年間
延べ利用者数は。

答 延べ利用者数は令和3年
度6,811人、令和4年度は
4月から1月までで5,984
人である。

問 子どもの権利について見
解は。

答 民法等の一部改正によ
り、親権者の子に対する懲戒
権の規定が削られ、新たに子
の人格の尊重等に関する規定
を設けた。当町でもこれに伴
い、こども関係の条例改正を
したところで、子どもの保育
などについて配慮していく。

問 国のこども園職員の配置
基準と町こども園職員配置に
ついて現状は。

答 南伊豆認定こども園職員
配置については、国の基準に

加え、加配を実施し、さらに
必要な場合には、フリーの主
任保育士を配置している。

問 こども医療費入院食事代
の自己負担分の助成はないか。

答 地方単独事業となり、国
の調整交付金との兼ね合いも
ある。現状、食事代について
は、入院等に関わらず日常生
活に必要なもので、助成対象
としていないが、今後検討し
ていく。

4 款 衛生費及びその関連 歳入について

質疑、意見要望はなかった。

5 款 農林水産業費及び関 連歳入について

問 環境保全型農業直接支援
対策事業費補助金はどのよう
な内容であるか。

答 堆肥の使用や、化学肥料
を低減するなど環境に配慮し
た農業に対して補助金が交付
される。

問 環境保全型農業直接支援
対策事業費補助金の活用によ
り、農業の出荷額や所得など
は向上しているか。

答 所得までは把握していな
い。補助事業の目的は環境に
配慮した農業である。

問 稚貝稚魚放流事業費補助
金が前年度と比較すると減額
されているがその理由は。

答 伊豆漁協南伊豆支所とは
定期的に打ち合わせをして予
算付けしている。黒潮大蛇行
の影響により水揚も減少して
おり、漁協ももがいている状
態である。

問 水揚も減少しており、陸

上養殖の検討も必要ではないか。以前のように台風時にカジメも打ちあがらない。漁協に養殖を促してもよいのではないか。

答 漁協は小稲の畜養施設で養殖に取り組んでいた時期もあった。検討していく。

問 松くい虫事業であるが、町内で枯れた松が見受けられる。適切な処理をしなければ感染が広がると思うが如何か。

答 弓ヶ浜などの保安林であれば県の支援もあるが、それ以外の松だと県の補助も得られない。財源の問題もあるが適切な処理に努める。

6款 商工費及びその関連歳入について

問 夕日ヶ丘のトイレ再設置を望む。

答 水源が枯渇し、土地も町有地ではなく、管理の問題もあり難しい。

今後、検討はしていく。

問 誘客で、大型バス誘致のプランは。

答 観光協会が旅行会社に売り込みをしている。町長もセールスしている。

問 誘客イベントの計画は。

答 夜のイベント、GW、春休み等、観光協会と協議しながらやっていく。

問 みなみの桜と菜の花まつりの結婚式をやらなかったが、来年以降の考えは。移住者もイベント等でつながりがっている。

答 来年以降のことは実行委員会が決める。移住者の力も活かしていきたい。

問 みなみの桜と菜の花まつりの入込状況は。

答 20万人を超えると予想している。

問 桜の保全管理が30万円では少ないのでは。

答 緊急に必要なものはない。しっかり管理していく。

問 ユウスゲ、マーガレットの管理費が計上されていない理由は。

答 マーガレットは地元が継続することが厳しいと言ってきた。ユウスゲは会計年度任用職員で対応する。

問 桜関連のイベントを広域で実施したらどうか。

答 賀茂1市4町に働きかけていく。

7款 土木費及び関連歳入について

問 町道等支障木伐採事業補助金の処分費について減額できないか。西伊豆町では、ほしい人にあげている事例がある。

答 検討したい。

問 公共施設等管理事業で出る廃棄物処理についてどのように考えているか。

答 現場内処理を考えている。

問 公共施設等管理事業で管理する町内14施設について、主な施設を教えてほしい。

答 亜熱帯公園、クリーンセンター手石側空地等。

問 青野川河川管理委託料について作業範囲が岩殿から湊大橋までとなっているが河川改修の終わった小町橋付近まで範囲を拡げられないか。

答 現地を確認し対応を検討したい。

問 河川愛護助成金について、何処の地区も高齢となっていて対応ができなくなっているが、河川の管理を

どのように考えているか。

答 今までは自助努力でお願いしていたが、今後は行政が行うこととなると思うが、手法について検討していきたい。

8款 消防費及び関連歳入について

問 老朽危険家屋等、解体撤去補助金とあるが。

答 所有者に区から承諾を得て区が行う。補助率は事業費の3/4で上限150万円、3軒分450万円の予算とした。

問 そのような家屋が町内に何棟あるか。

答 詳細は把握していないが、固定資産の対象者では6棟程度と思う。

問 自主防災訓練の訓練はマンネリ化している。今後何か飽きさせない工夫を考えているのか。

答 ここ数年コロナ禍のため殆ど実施できなかった。次年度に向けて自助・共助を前面に出しながら訓練を行い、その中で自主防災会長をはじめ研修などを実施していきたいと思う。

9款 教育費及び関連歳入について

問 南伊豆分校に遠方からの生徒に対し、何らかの支援はできないか。

答 賀茂地区以外の生徒が入学した場合、南伊豆分校の存続に対し有り難いので、そのような生徒が来るのであれば町として支援できるのか検討していく。

問 GIGAスクール構想の関連事業の中で、テレビ12台とあるがその内容は。

答 大型テレビ12台が故障

となったので買い替える。

問 2月8日に分校の審議会があったなかで、分校の存続の議論はされたのか。

答 魅力化審議会の内容は研究発表のDVDを視聴し、その中でスマート農業の事業化について具体的にするための考えや、町の関わりについての考えを委員の中から協力したいとの声が上がった。分校存続の議論には至らなかった。

問 地域活性化企業人の活用はどのくらいの進捗か。

答 学校の現状を確認し、各校に応じた取組を進めている。

問 ICTもいいが、子どもの自発性、創造力、体験等どのように考えているか。

答 教育方針は、ふるさとを愛し心豊かな人を育て、町として人間形成をしていきたい。

問 高校通学費補助と月に数回登校の通信教育の生徒との公平性は。奨学金の創設を提案する。

答 定期券購入を対象としている。

問 いじめ対策の予防教育は。

答 努力していく。

10款 災害復旧費及び関連歳入について。

質疑、意見要望はなかった。

11款 公債費

12款 予備費及び関連歳入について

質疑、意見要望はなかった。

特別会計

議第33号

令和5年度 南伊豆町国民健康保険特別会計予算

問 乳幼児の均等割撤廃の話があるが、町の認識を教えてください。

答 乳幼児の均等割の半額を減免する事について、国保運協で承認をいただいているので、今年度から例規を改正し対応している。

問 1人当たりの負担額を市町村ごとに比較した場合、どのくらいか。

答 資料が無いため具体的な数字は出せないが、県内下位となっている。

議第34号

令和5年度 南伊豆町介護保険特別会計予算

問 介護従事者の課題と充足率は。

答 町内事業所のアンケート調査の結果は、現在は何とか足りているが、従事者の高齢化などにより、5年先を見据えた場合に人材不足の不安があるとのことであった。今後、それに対応した対策が必要と考える。

問 基盤財政を厚くするよう国に要望を。

答 町長会で提言していく。

議第35号

令和5年度 南伊豆町後期高齢者医療特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第36号

令和5年度 南伊豆町南上財産区特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第37号

令和5年度 南伊豆町南崎財産区特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第38号

令和5年度 南伊豆町三坂財産区特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第39号

令和5年度 南伊豆町土地取得特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第40号

令和5年度 東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置事業特別会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第41号

令和5年度 南伊豆町公共下水道事業会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第42号

令和5年度 南伊豆町漁業集落排水事業会計予算

質疑、意見要望はなかった。

議第43号

令和5年度 南伊豆町水道事業会計予算

問 総務省の基準に基づかない繰出金のうち、簡水の修繕費と簡水債の利子はどのくらいか。

答 修繕費430万円、利子は基準内。

問 各区担当等との打ち合わせの進捗状況は。

答 メータ設置は概ね完了、テスト検針も終了している。維持管理業務も昨年度、今年度と地元区、委託業者と共に確認した。

●一般質問 町長に聞きました



横嶋隆二 議員

地域経済活性化のため、独自対策と最低賃金引上げ・社会保障の充実

質問 労働者の賃金が30年上がっていない異常な事態の下で、新型コロナ禍3年を経て、昨年来の物価は地域経済家計に大打撃を与えています。100%プレミアム商品券第5弾を評価するが、さらに対応が必要です。政府に対して強く意見を上げてほしい。最低賃金を時給1,500円に上げることが必要です。政府が中小・個人零細事業者にげたを履かせ最低賃金を上げるよう求めることが必要です。

町長 5類への移行が示され従前の手厚い経済対策は縮小傾向と推測されます。新年度は、伊勢海老、桜まつりでの宿泊助成クーポンやクーポン券発行を継続しますが、国の新たな支援策が示された段階で、各種経済支援に躊躇なく取り組みます。物価高騰も顕著であり、最低賃金の改定は急がれます。最低賃金の上昇

を強く訴えていきます。

質問 認識が一致して頼もしい限りです。保育・介護労働者・医療労働者の賃金が当たり前の水準になれば、地域経済の大きな力になります。国県へ声を上げるべきです。

町長 国は令和4年10月から福祉関係職員の臨時報酬等改定を実施し、処遇改善が図られています。今後も国・県に強く要望していきます。

ERSプラントの実証経過と展望

質問 (株)JETのERS(急速発酵乾燥資源化装置)で処理ごみの一般可燃ごみの状況と特性は。

町長 重量減少率は36.2% 詳細データの報告は無い。

生活環境課長 燃焼の状態が今までと違うと報告を受けましたが詳細データはまだです。水分がなくなり、成果物の焼却に化石燃料を使う量が減ることは大変大きいです。燃焼がしやすく作業性が楽になったと聞いています。今後いろいろな方向も考えられるので、当局として最終的な費用対効果まで含めた中で判断をしていきます。

質問 環境省のホームページに紙おむつ処理があります。

高齢者施設や保育園もあり資源化が可能では。

町長 ERSプラントで町内介護施設から紙おむつの提供を受け実験を予定しています。結果を踏まえ提案を待ちます。保育園の紙おむつは新年度から保護者が持ち帰らずまとめて回収処理します。

質問 画期的期待します。剪定枝・刈り草・台風時の打上げ海藻・伐採竹・広葉樹のERS処理は可能ですか。ERS導入コスト・ランニングコストはどうか。

町長 処理可能と回答されます。コストは実証実験完了後事業者から提案されます。

再生エネルギーと資源循環のまちづくり

質問 ERSプラントで、熱利用発電、剪定枝の堆肥化ができれば、放置広葉樹を計画的に伐採しエネルギーの地産地消が展望でき、陸上養殖なども可能と思います。

町長 町には約8千畝の山林があり、1日40トで90年間伐採可能な広葉樹の賦存量があります。バイオマス発電やERS活用も含め、エネルギーの地産地消は重要施策として捉えています。



黒田利貴男 議員

自然環境保全への取り組み

質問 人が一生の間に排出する二酸化炭素の量は木6本分と言われています。

現在の森は木が大きくなりすぎ、森の中に落ち葉がなくなり、保水力の低下、二酸化炭素の吸収量の低下など、様々な問題が発生しています。現在の森の健康状態は不良ということになります。

SDGs、持続可能な開発目標の中には、二酸化炭素の排出抑制であるとか、海を守るなどもあります。循環型社会の創出のために取り組まなければ、本来のふるさと、子供たちのために残すべきものが残せなくなります。

町長 町内の約8割を占める天然林の早急な整備が求められていると認識しております。

このため、天然林の早期整備が自然環境の保全に極めて重要であることから、静岡県森の力再生事業などに加え、森林環境譲与税を活用した森林整備に取り組みながら、落葉広葉樹への転換を図りたいと考えております。

地域整備課長 森林整備のための計画を策定させていただき、来年度以降、環境譲与税を使った中で整備をしていくというような形で進んでいきたいというふうに考えております。

農地の集約化と効率化について

質問 町内を見回してみると、荒れた荒廃地や遊休農地がかなり目につくようになりました。そのような場所を埋め立て、田んぼから畑に転換していく必要があります。現在の食料供給の基盤である優良農地の確保を図りながら、農業上の利用に支障の少ない農地に誘導していくためにも、農地の集約化は必要です。農地の集約化の考えは。

町長 農地の集約化は不可欠であり、集約化が生産量の向上、農家所得の向上、未来に向かっての農地保全や農地維持につながるものであります。

現在、本町農業委員会においては、農地が比較的まとまっている竹麻地区、南中地区、南上地区の農地所有者に対して、今後の農地活用についての意向調査を実施しておりますが、これらは今後集約化の施策の参考とさせていただくものであります。

質問 食料供給の基盤である優良農地の確保対策についてお伺いいたします。

町長 青市の野辺において、

伊豆縦貫自動車道の工事発生土を活用した基盤整備事業が進められており、これら優良農地の確保をもって、生産性の向上や担い手不足の解消などにも期待が寄せられております。

鳥獣害総合対策について

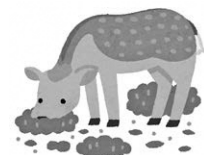
質問 ロケット花火を使った追い払いの町民の反応と、効果と検証は。

町長 集落での取組においては、発射器具の数量はまだ不足しておりますが、お困りの皆様が個々に発射器具を作成し、近所の方々に配布するといった活動も見られましたので、その波及効果に期待をしております。

効果検証については、追い払いの機運が高まることで所定の効果はあったものと認識しております。

地域整備課長 緩衝帯ですとか、不要果樹の剪定、こちらのほうは非常に大切です。また、地区で取り組むことも一番肝要というふうに考えております。

森林環境譲与税を使った中で、落葉広葉樹を植栽して山の改善に努め、獣が山の中でも餌があるような関係をつくっていければなというふうに考えております。





比野下文男 議員

コロナ対策、町内経済対策

質問 新型コロナ禍は既に3年。町内は依然厳しい状況です。町長はウィズコロナ期の感染予防対策及びポストコロナ期の町内経済復興対策を中心に政策実行に努めると答弁しましたが実行は。高齢者は、ワクチン接種経済等、様々な面でまだ、行き渡っていません。

町長 感染予防対策はワクチン接種を最優先施策とし、令和3年5月10日から集団接種を開始しました。ワクチン接種状況は2月5日現在、3回目接種者数は6,242人、接種率は人口比79.9%、オミクロン株対応ワクチン接種者数は4,719人、接種率は60.4%です。政府は5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の分類を季節性インフルエンザと同様の5類に引き下げることを決定しました。今後も国・県が発信する情報を注視し的確に対応します。経済対策は、観光関連事業者支援策として、宿泊割引キャンペーン・誘客促進事業を5回、広範囲で町内消費

拡大の底上げ策としてプレミアム付商品券事業を5回実施しました。宿泊割引は、町の認知度アップに大きく貢献したものと自負します。プレミアム付商品券事業の経済波及効果は毎回1億円程度に上ると推測されます。

地区懇談会の開催

質問 地区懇談会の開催をお願いしたい。新型コロナ禍で、高齢者は日々互いに支え合い頑張っています。町長が出向き事業を丁寧に説明し声を反映させることが使命ではないですか。広報で町長は、今年うさぎ年で年男。文字どおり飛び跳ねまわってトップセールスを行い、国内外とも南伊豆ファンになっていただくと述べています。それだけのエネルギーとフットワークがあるならば、町民の安泰こそ願います。

町長 町民が日々の暮らしの中で感じる事柄を忌憚なくご発言いただけるような町長と未来を語ろうを立ち上げました。延べ約30団体の皆様方と膝を突き合わせ生の声を聞かせていただきました。地区懇談会は、大きな政策転換となる事案を説明する場合必須であると考えております。

6年目のビジョン

質問 新年度一番目玉となる政策に期待しているが方策は何か。大規模事業はない。財

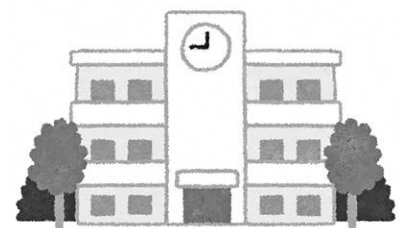
政は厳しいと、認識していますが、企業誘致など本腰を入れていただきたい。我が町は危機的な状況に陥ります。

町長 農業法人の誘致の他、企業の進出・本社移転等様々な案件が現在あります。

質問 町立中学校の統合計画について、生徒数の予測、統合計画の考え、開校予定、全体構想の進め方について教育長と町長の考えは。

教育長 令和5年度の中学校新入生は、南伊豆中35人南伊豆東中18人計53人。令和8年度の中学生総数が147人。令和9年度は129人。令和13年度は93人。こうした点を勘案しながら統合準備委員会を進めています。やむを得ず統合するのではなく、学びの質が向上できる教育環境を整備する統合と考えて進めています。

町長 情報共有したうえで、子供たちにとってベストな教育環境をと進めています。





宮田和彦 議員

町の活性化と戦略

質問 南伊豆町産業振興計画を展開していますが、観光産業の効果の高いプロモーションの検討、商工業振興についての推進状況、そして、振興計画における雇用と所得状況をお聞きます。

町長 デジタルコンテンツを活用した事業として「リアル宝探し・南伊豆大秘境」、美しい伊豆創造センターを核とした広域観光推進、ジオパークビジターセンターを中心としたジオサイト、ジオパークの普及啓発等があります。また、商工業振興については、計画の重点戦略の一つとして挙げられている「情報発信など広域戦略の強化」の施策として、デジタルコンテンツ作成ツール講座を開講いたしました。雇用と所得につままして県内外の経済回復による中小企業の振興があつてこそその雇用促進、所得向上であることから、本町においても可能な限り有効な経済対策を講じることがもとより機会を捉え県内経済対策のさらなる推進を求めつつ最低賃金の上昇を強く訴えることで所得の向上

へ繋げていきたいと考えています。

町民の安全・安心な生活について

質問 コロナの8波では死亡率が過去最高水準に達しています。死亡者の9割程が高齢者です。本町では、70歳以上の高齢者が約3,000人いらっしゃいますが、2類相当から5類に下げるのは、時期尚早ではないかという不安の声もあります。また、緩みが出て感染が増える可能性も大いに考えられますが、ご所見を伺います。

町長 今後の動向に注視し、5類への移行に向けた対策などが示された段階で機動的かつ的確に対応したいと考えています。

給食費について

質問 食品等の値上げラッシュの中、令和5年度の給食費の値上げの考えはありますか。

教育長 物価高騰が予測される中、値上げについての検討が必要になるかと思われま

質問 給食費値上げ幅分の助成の考えはありますか。

町長 保護者の皆様への負担は増やしたくないと考えていますので適時判断していき

たいと思います。

質問 我が町は県下でも所得が低い方です。子育てにはお金も掛かります。また、食育の観点からも、給食費の助成をお願い致します。

带状疱疹の予防ワクチン接種について

質問 带状疱疹の認識をお伺いします。

町長 带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気で、加齢や疲労、ストレスのほか、糖尿病やがんなど、免疫力の低下する病気が原因とされており、80歳までに3人に1人が発症すると言われています。

質問 带状疱疹は、頭から顔にできることもあり、重症化すると、視力の低下、失明、顔面神経痛や麻痺、耳鳴り、難聴、めまい等を引き起こすと言われています。带状疱疹ワクチン接種の助成制度が必要です。国、県へ訴える考えはありますか。

町長 県の首長会議のほうにもご提案をさせていただきたいと思っています。





清水 清一 議員

定 住 促 進

質問 町として定住促進の進めかたについてお聞きします。

町長 多世代の方々から移住相談を随時受け付けており、お試し移住や空き家バンク、移住セミナー等の各種制度や取組をもって、移住に向けたサポートを継続しております。

地域コミュニティ活動

質問 地域のコミュニティが活発になってくれば、ひいては町の活性化につながってくると考えますが。

町長 現状を維持し、さらに活性化する活動や施策に対し、地域住民が積極的に参画し、総力を挙げて地域コミュニティを守っていくことこそが地域再生には不可欠であると考えます。

地域コミュニティの維持活性化をもって、持続可能な南伊豆町は実現できるものと考えております。

一朝一夕とはいきませんが、

農林漁業体験や着地型観光と豊かな自然環境、情報ネットワークやアクティブシニア層の取り込み、定住、移住、自然再生エネルギーなどをキーワードとして、さらなる地域コミュニティの活性化に取り組んでまいります。

質問 定住促進の取組の中で、十何年前に各地区にアンケートを取って、区費や人足等の一覧表をつくった。それは更新されていますか。

総務課長 1回見直しをかけたのですがその後は見直しをしておりません。

職員の資質及び能力の向上

質問 町長の施政方針の中でもありますように、スキルアップ等あれば、町はよくなるよと、町役場職員についてはどのようにやっているのか、人材育成基本計画の内容と効果をお伺いいたします。

町長 人材育成の具体的な方策としては、次の4点で、

- ①職員研修の推進で、各種団体が行う研修への派遣、近隣市町との合同で実施する研修等への派遣、自己啓発に対する支援（自主研修費助成制度）。
- ②人事評価制度の活用で、期首、期末等の面談を通じた意見交換や職員の発揮した能力と業績を承認することで、モチベーションの向上や能力開発を推進しており

ます。

- ③職員の適性を生かすための人事異動で、職員の持つ能力と活用したい業務内容、異動に対する希望、有している資格、免許などを人事異動希望調書として毎年提出させ、できる限りこれを考慮した人員配置に努めております。
- ④ジョブトレーナー制度で、新規採用職員に対して、入庁5年目以上の職員を指導担当者として、業務や職場生活全般の指導、助言を行い、人を育てる職場づくりを推進しております。

質問 幹部職員はどのように考えておられるのか。

総務課長 職員研修の受講や自主的、主体的に行う取組は、職員の能力開発や能力向上に資することからも積極的に支援をしています。

今後も部下が自主的にチャレンジできる、既存事業の生産性を向上できる自立型の人材育成、キャリア支援に向けた体制整備に努めます。





漆田 修 議員

南伊豆分校存続と高専化

質問 入学応募率は低迷状況にあります。一月末、県・教委に存続に関わる陳情要望に訪問したと聞きましたが、その進捗内容と南伊豆分校魅力化推進協議会（2/8）の活動結果内容は如何ですか。

教育長 県教委所管を前提に答弁しますが園芸を通じた交流評価は高く、特に存続を含む具体的な方向性への言及はありません。又協議会では、スマート農業の事業化研究発表に対して新たな販路提案や支援を受け、町としても連携を図りたいと思慮します。

質問 学校自身の質を高める議論のみが偏重する中、お手許に徳島県神山町の高専化事例を添付してありますが。国の主要施策であるデジタル田園都市国家構想の社会課題の解決の一つにスマート農業の推進があります。ロボット化による水耕栽培中の分校の取り組みは、政府のDX推進にも合致するし応募率アップの為に高専化の研究・検討は可能性が高いと思慮されるが

当局の見解を賜ります。

町長 県立高校なので静岡県が高専化を進めるという事であれば支援するし、今般の提案は賀茂地域局長にも繋げます。

湊病院跡地の公有地化

質問 跡地利用のサウンディングは満足いくものではなかった。本題に入る前、持続可能な医療提供体制を確保する為の公立病院経営強化ガイドラインを令和5年中に策定する様要請されているが首長間の運営協議会の場に管理者からの報告等は有りましたか。

町長 組合と指定管理者、静岡メディカルアライアンスとの協議・検討を経て特に機能分化と連携強化に就いては報告が有りました。

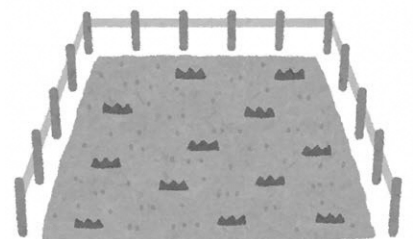
質問 跡地利用には公有地化（貸付・買収）と民間買収の二通りの選択肢が考えられる公有地化の主たる財源として過疎新法の5事業やデジタル田園都市国家構想交付金など研究・検討するべきと思慮されるが如何ですか。

町長 以前に地方創世推進交付金と過疎対策事業債を財源とする生涯活躍のまち作り拠点施設整備計画がありました。令和元年6月に中止しました。御指摘のデジタル推進交付金や過疎債を充てる事は可能だが中止以降の現時点では

土地の取得と利活用に就いては広い意味で模索している現状です。

質問 平成9年厚生省から7億2千万円で買取り、現在地に移転時病院施設と院長宿舎の繰上償還2.9億円で債権残高を償還した。資料3を見て頂きたい。病院敷地売却可能部分2.2万㎡が今回のファンディング対象であった。3月23日組合協議会で取り壊しの費用分担割合決定の取り決めがあり、一方跡地価格算定は令和4年度10月時点評価の価値も開示されている。これ等を睨みながら如何対応しますか？

町長 当該地が津波浸水区域で多額の財政負担が想定される事から熟考し、令和5・6年2か年で解体工事が完了する迄に、土地所在の自治体として利活用が可能な大手企業などへの誘致なども務めて参ります。土地代金に関しても首長間で様々な意見があるので更なる協議を重ねます。



未来を担う子ども達

仲間と共に

南伊豆中学校男子ソフトテニス部は、3年生7名が引退し、現在2年生3名、1年生7名の合計10名で活動しています。

本校の男子ソフトテニス部の2年生が少ないことは、チーム全体の技術レベルを他校と比べると総合力で見劣りする面もありますが、逆に伸びしろの大きい1年生が他校より早い時期からたくさんボールを打つことができることをプラスととらえ技術向上をめざしています。2年生は後輩に技術指導をしたり範を示したりすることで自らの技能を磨き、1年生は、仲間と切磋琢磨する中で技術を高めあっています。そのような中、先輩後輩の仲の良さもチームの誇れる要素です。後輩のよいプレーには普通の練習から「ナイス、サーブ」「ナイス、ボレー」「ナイス、コース」「惜しい」「ジャスト」等、励ましや仲間を讃える声が絶えません。自然と1年生にも仲間を認め合う雰囲気生まれ、声かけをするようになりました。先輩に追いつき追い越すことを目標にさらなる向上心も生まれています。

部員達は昼休みになると我先とコートに出て他の部の生徒も誘ってボールを打ったり、休日練習や練習試合の後に加納のコートを予約し自主練に励んだりする等、常々「テニスが好き」と公言するほどの意欲を見せています。

今後も各大会での上位入賞を目標に個人的に技術向上に努めるだけでなく、ダブルスでプレーする上でのパートナーとの絆や信頼関係の構築、団体戦での一体感のある応援や試合会場の挨拶、場に応じたマナーや態度等、チームとしての成長を目指していきたいです。また、支えてくれる家族や練習試合の対戦校の選手や顧問、各大会を運営する方々等、部活動に関わる全ての人や物への感謝も忘れずに活動していきたいです。



南伊豆中学校
男子ソフトテニス部
顧問 小川 勇
副顧問 渡邊 晃雄

テニスに夢中！南伊豆中女子ソフトテニス部

南伊豆中学校女子ソフトテニス部は、現在2年生3名、1年生10名の合計13名で活動しています。

部員は中学校で初めてラケットを握って取り組み始める生徒がほとんどです。また、運動の得意な生徒も苦手な生徒もおり、部活動への熱量もそれぞれです。しかし、3年間、仲間や自分と向き合い、努力することで、テニスが好きになり、勝ちたいと思うようになってきます。次第に真剣さの中にも笑顔があふれてきます。

それは今年度の部のテーマである、「ポジティブ+チームワーク」にもあらわれていると思います。生徒が主体となって毎年テーマを決めますが、これを基にいつでも前向きに、自分たちで工夫しながら和気あいあいと練習に取り組んでいます。そうすることで、テニスに夢中になり、気持ちも技術も向上していきます。

女子ソフトテニス部は、心身と技能だけでなく、あいさつやマナーを身に付けたり、支えてくれる仲間や保護者、素晴らしい環境がある郷土に感謝したりして活動できる人、生涯通じてスポーツに親しめる人を目指します。

南伊豆町のテニスを行う環境は、加納のテニスコートを改修整備していただいたことで、劇的に向上しました。御尽力戴いた皆様に感謝申し上げます。おかげさまで技能も向上し、よりテニスに熱が入るようになりました。

これからも感謝を忘れず、ペアとの人間関係の構築等を通して人間的に成長できるように、そして試合で練習の成果を発揮できるよう、部員全員、テニスに夢中になって笑顔で頑張っていきたいと思っています。



顧問 滝井 隆
古川 直行

議会一コマ

議会の権限

地方議会の権能は大幅に拡充し、住民自治の原動力として地域社会の発展に貢献している、特に戦後の地方議会の重要な特色は(1)地方公共団体の意思決定機関である事が憲法上明確に保証された事、(2)議員、長、は直接公選による所謂大統領制を採用して、共に住民に対して直接に責任を負うものとし、両者の関係は対立の原理を基本にしながら相互に抑制と均衡によ

て、何らかの独善と専行を防止する体制がとられている事の二点だ。そこで議会にはこれ等の権能と責任を果たす為、議決権を中心に多くの権限が付与されている。それは(1)議決権、(2)選挙権、(3)検査権、(4)監査請求権、(5)意見書提出権、(6)調査権、(7)自律権、(8)同意権、(9)承認権、(10)請願・陳情権、(11)報告書類の受理権、これ等の権限は議会への権限で個人への付与権でないという点で、何れも議会の意思決定権に基づいて発動される。
無為自然(漆)



自然環境保全とは人間の活動による環境への負荷を軽減し、地球温暖化・生物多様性の損出・公害の発生などを抑制する取り組みとある。

自然を守りたい気持ちを持っていますが、方法を間違ってしまうと効果は出ません。「ブラックバスをキャッチ＆リリースする。」「錦鯉の住める綺麗な川にしましょう。」などは間違った認識の例です。

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」の諺があります。桜の場合は切り口から菌が入りやすく腐りやすいためむやみに剪定してはならず、梅は無駄な枝を切ってやらないと樹形が崩れ良い花、実がつかなくなってしまう。個性に応じた手の掛け方をすることが大切ということです。

同じように環境保全のためには科学的根拠に基づいた正しい知識が必要です。皆で考えませんか。

新風創造(黒)